

月例法話「皆と共に仏道を！」

日時：5月22日(火曜日)10:30～

場所：東芳山真言宗花鳥寺 寺務所3階

地下鉄東西線「蹴上下車」東へ徒歩約13分南側東山花鳥霊園内、駐車場完備

読経 佛前勤行(真言宗総本山東寺)

法話／土口哲光 住職

終了後「お悩み相談」は事前にお申込み下さい。／個別・秘密厳守

土口哲光住職の著書

真言宗総本山教王護国寺(東寺)第256世砂原秀遍猊下推薦の一冊！

「泣いて生まれてきたのだから

笑って死にゆく準備をしよう」

神戸市西区の真言宗御室派長福寺の長男として生まれ、僧侶となるべく高野山大学に学んだ土口住職。日本の全宗教を取材対象とする「中外日報社」に入社し役員となる。退社後は総本山教王護国寺(東寺)に教化部長として入山、「御影供」の「弘法市」より御影堂の唐門の前に立って辻説法を続けていた。

本書は、そんな土口住職の温かい包容力のある人柄を彷彿とさせる珠玉のエッセイ集。

土口哲光住職の略歴

昭和15(1940)年／神戸市西区押部谷町養田、真言宗御室派長福寺の生まれ。

昭和38(1963)年3月／高野山大学文学部仏教学科卒業。

同年4月／宗教専門新聞《中外日報》京都本社に入社。編集局記者、編集部長を経て、

昭和54(1979)年／中外日報取締役就任。取締役大阪支社長、京都本社取締役営業局長。

東洋医学の財団法人京都仏眼協会理事を併任。

平成9(1997)年3月／中外日報と仏眼協会理事を退社、退任。

同年5月／真言宗総本山教王護国寺《東寺》教化部長就任。

平成17(2005)年10月／同本山責任役員。真言宗布教連盟常任理事。

大阪シニアライオンズクラブ理事。

平成22(2010)年11月／滋賀刑務所《教誨師》拝名

平成23(2011)年5月／山科区厨子奥花鳥町の東芳山真言宗花鳥寺住職に就任

平成28(2016)年6月／滋賀刑務所所長より「感謝状」教誨師として拝受

平成29(2017)年6月／花鳥寺の木製看板を自ら隷書体にて墨跡で認め掲揚する。

同年11月／大阪矯正管区教誨師連盟会長より「感謝状」拝受